



# 立志 鍛錬 協調

第8号 令和7年11月28日

# 立三中

立川市立立川第三中学校  
Tachikawa Daisan J.H.School

## だより

### 感謝の気持ち

校長 敦澤 雅規

学校だより第3号でもお伝えしましたが、私は本校の道しるべともいえるべき学校経営計画を作成しています。その中に目指す生徒像「自分を信じ、仲間を信じ、認め合い励まし合いながら共に成長する生徒」があり、さらに3つの生徒像に分かれますが、そのうちの1つである「思いやりをもって自分から笑顔で明るい挨拶や声かけ、リアクションをとれる生徒」について、11月17日（月）の全校朝礼で三中生に話をしました。

あっという間に、合唱コンクールから3週間が経ちました。みなさんの作文を見ると、仲間への感謝の気持ちがつづられているのをたくさん見かけて、嬉しく思います。振り返れば、9月の3年生の修学旅行では、3日間、バスの運転手さんやガイドさん、ボランティアガイドさん、タクシーの運転手さん、宿舎の方々など、数えたらキリがないほどのの方々にお世話になりましたが、多くの3年生が大きな声で元気よく挨拶をしている場面をたくさん見ました。また、7月の2年生の職場体験では、私は時間を見つけて、幾つかの職場を回り、そこで職場の方と話をしたのですが、「しっかり挨拶ができていい生徒さんたちですね」「話しかけると反応してくれて嬉しいです」などと、感謝の気持ちをたくさん言っていただきました。とても嬉しかったです。1年生はスキー移動教室での振る舞いを楽しみにしています。

みなさんも仲間や家族、先生などから「感謝の気持ち」を伝えられたことがあると思います。その時を思い出してみてください。心地よい嬉しさが込み上げてきませんでしたか？ ぜひみなさんも「ありがとう」という感謝の言葉を、照れずに伝えてみてください。「リアクション」をとってみてください。例えば消しゴムを拾ってもらったり、プリントを回してもらったり、給食を配膳してもらったり、クラスのために意見を言ってくれたり…。考えてみれば、人と関わる中で、「ありがとう」だらけです。でも「ありがとう」は伝わらなくては意味がありません。いつもよりちょっと声を張って、「ありがとう」と伝えてみてください。それが「思いやりのキャッチボール」になったら、なおいいですね。あなたの勇気、リアクションを応援しています。

「ありがとうは すべての人を幸せにする 魔法の言葉」です。

顔を上げて 話を聞いてくれて、「ありがとう」。

宿泊行事や校外での学習のようすの中から「感謝の気持ち」「リアクション」について話をしましたが、日頃の学校生活で毎日のように会う仲間（よく話す人もあまり話したことがない人も）や先生方への「感謝の気持ち」や「あいさつ」は忘れがちです。また、三中を訪れる来校者（地域の方や業者の方、高校の先生など）は、見慣れない方だと「あいさつ」は遠慮がちになってしまいます。三中生の良いところの一つは「元気の良さ」ですから、ぜひ自分から笑顔で明るいあいさつや声かけ、リアクションをさらに意識して、【「笑顔」と「あいさつ」と「ありがとう」でいっぱいの中】になってくれたらと願っています。